

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第120回）議事概要

1 日時 平成28年7月26日（火） 14時30分～15時35分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

伊東 晋（分科会長）、鈴木 陽一（分科会長代理）、相澤 彰子、
相田 仁、青木 玲子、安藤 真、近藤 則子、三瓶 政一、
知野 恵子、前田 香織、水嶋 繁光、（以上11名）

（2）専門委員（敬称略）

三木 哲也、林 尚吾 （以上2名）

（3）総務省

（情報通信国際戦略局）

武田 博之（総括審議官）、野崎 雅稔（技術政策課長）

（総合通信基盤局）

富永 昌彦（総合通信基盤局長）、渡辺 克也（電波部長）、

秋本 芳徳（総務課長）、田原 康生（電波政策課長）、

内藤 茂雄（基幹・衛星移動通信課長）、坂中 靖志（電波環境課長）

（4）事務局

中村 伸之（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

4 議 題

（1）答申事項

「海上無線通信設備の技術的条件」のうち「船舶用固体素子レーダーの技術的条件」について

【平成2年4月23日付け電気通信技術審議会諮問第50号】

【内容】

本件は、従来の船舶用レーダーと比べて、長寿命で、周波数が安定している固体素子を増幅器とした9GHz帯船舶用レーダーの技術的条件について、当分科会「航空・海上無線通信委員会」より報告された内容を審議したものの。

(2) 報告事項

① 「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」のうち

「1. 6GHz帯／2. 4GHz帯を用いた移動衛星通信システムの技術的条件」の検討開始について

【平成7年9月25日付け電気通信技術審議会諮問第82号】

【内容】

本件は、平成12年9月25日に当時の郵政省の電気通信技術審議会から一部答申を行っているものですが、2. 4GHz帯における無線LANの普及やロボット無線システムの導入等、その後の電波使用状況が大きく変化し、共用検討の前提条件が変わっており、また、1. 6GHz帯／2. 4GHz帯を用いた移動衛星通信システムの技術の進展が見られることから、同システムの高度化を図るため、追加検討を行うもの。

② 「電波政策2020懇談会 報告書」について

【内容】

本件は、本年1月より「電波政策2020懇談会」において、議論が進められてきた、2020年に向けた我が国のワイヤレスサービスの発展・国際競争力強化のための方策や新たな無線システムを導入するための制度見直しの方向性、平成29年に見直し時期を迎える電波利用料制度の在り方等について、今般とりまとめられた報告書の内容について、報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 加藤、中山

電 話：03-5253-5957

F A X：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。